

立候補予定者			
候補者	氏名	大井 一雄(おおい かずお)氏	長谷部 健(はせべ けん)氏
	政党	無所属(共産党推薦)	無所属
	現職業	渋谷民主商工会	現区長
政策比較			
	質問内容	回答内容	
①	<p>【未来像】 <将来めざすべき渋谷区の姿> 任期4年間で、渋谷区をどう変えていくのか？近未来のビジョンを具体的に提示してください。また、具体的な数値目標が言える政策内容があれば、そちらも織り交ぜて、お答えください。同時に、10年後の渋谷がどんな街になっているか、想像の範囲で構いませんので、お答えください。</p>	<p>これまでの福祉切り捨てや国民健康保険料などで区民の暮らしは深刻です。これは、区民のくらしそっちのけで、区庁舎の土地や宮下公園の整備事業に区民の財産を差し出したり、渋谷駅周辺の再開発事業に区税をつぎ込んでいくからです。ましてや宮下公園整備事業で定期借地権を190億円も値引きした疑惑がでているわけですから、こうした「逆立ち」を正さなければなりません。</p> <p>誰もが安心して住み続けられる渋谷にするために、税金の使い方をくらし・福祉第一に切り替え、「福祉のまち・渋谷」をつくりまします。</p> <p>国が求める「国際競争力の強化」「世界で一番企業が活躍しやすい国」づくりが進めば、その渋谷版として、大型開発競争が激化し、区民の生活破壊につながっていくと思います。これを住民が主人公のまちづくりに切り替えることが求められていると思います。</p> <p>10年後の渋谷は、福祉が充実し、だれもが豊かさを実感でき、住民が主人公と胸がはれる渋谷にするためにがんばります。</p>	
②	<p>【住】 <渋谷区に在住する人のための政策> 渋谷区に暮らす方々にとって「住みやすい」街であるためには何が最も重要か？喫緊に抱える課題、問題、およびその解決方法など具体的にお書きください。子育て世代の家族、高齢者世帯、単身者…どの在住者の視点でも構いません。また、現行の「渋谷区基本構想」、「渋谷区環境基本計画」について、それぞれの内容についての見解(進捗状況、評価等)もお書きください。</p>	<p>「住みやすい」渋谷であるためには、誰もが安心して暮らそう「福祉の心」で区政を考えなければなりません。具体的には、負担の軽減、福祉の充実が急務です。当面、国保料の値下げ、学校給食の無償化、特養ホーム待機者ゼロ、認可保育園の待機児ゼロ、高校生や低所得の高齢者の医療費ゼロをめざします。また、区営住宅の増設や若者向けの家賃補助性の復活などもいそがれています。</p> <p>渋谷区基本構想については、どれだけ区民の意見が反映されたのかという問題があり、区の果たすべき責務と役割が明記されていません。さらに、目指すのが「成熟した国際都市」とは、「高度な国際競争力」を備えた都市を目指すとはありますが、大企業優先であって、自治体本来の役割である「住民の福祉の増進」が中心にすわっていません。</p>	
③	<p>【産業振興】 <渋谷区で事業を営む人、事業に従事する人のための政策> 渋谷区で事業を営む企業の方々が安心して事業に打ち込めるための施策、渋谷区の経済活性化につながる産業政策、税制、スタートアップ支援制度など、複数の視点からお答えください。特に渋谷区はITスタートアップの聖地として確立(約600社ほど)されており、さらにそれを推進していくのか、それとも他業種、他業態の産業振興も視野に入れていくのか、お答えください。</p>	<p>地域経済を支えるのは中小企業・業者であり、商店街です。これまでの考え方は「自己責任」でした。まずは、地域の経済、雇用、文化を支える柱として、しっかり区として位置づけを明確にすべきです。中小企業振興条例や小規模企業振興条例を制定して、すべての中小企業、商店街を視野に入れて支援していくことが必要です。</p> <p>経済波及効果抜群の住宅リフォーム助成制度を拡充したり、公契約条例を実効あるものにする、商店街の街路灯の維持管理費を全額補助するなどの支援策が必要で、</p>	
④	<p>【観光・文化・スポーツ】 <渋谷区を楽しむ人のための政策> 2020年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されるに当たり、渋谷区内の資源だけでなく、区外連携も含めた観光・文化・スポーツの活性化に繋がる施策を具体的にお答えください。渋谷区ではパラリンピック競技(車いすラグビー、バドミントン、卓球)が行われます。この機会をどう捉え、どう活かしていくのか、どのような視点からでも構いませんので、具体的にお答えください。</p>	<p>オリンピック・パラリンピックは、スポーツを通して人間育成と世界平和を究極の目的とされています。この機会に、オリンピック憲章に基づく理念を、渋谷に生かしていくための議論をすすめることが必要です。スポーツを通じて青少年の育成など、区民のみならずはもちろ、子どもたちの未来についても考える機会にしたいと思います。そのうえで、誰もがスポーツを楽しめる施設や環境づくりを進めるべきと思います。</p> <p>これを機会にバリアフリーなど障がい者が暮らせる街づくりをすすめていく必要があります。</p>	
⑤	<p>【安全・安心・防災対策について】 <街づくり政策> 1964年の東京オリンピックを契機に建てられた多くのビルが老朽化。いつ何時起こるか分からない災害に対して、それに耐えうる街となっているのか。都市開発、安全な街づくりという視点で、現状の課題、問題をどう捉えており、それらに対してどのように取り組んでいくのか。具体的にお答えください。</p>	<p>各地で大規模で深刻な災害が相次いでいます。首都直下の大地震などへの備えが求められています。</p> <p>区の地域防災計画がたてられているものの、ビルに限らず、住宅も含めて耐震改修促進計画は進んでいません。倒れにくく、燃えにくいまちづくりが求められています。特に木造密集地域での住宅の耐震化、不燃化など、予防重視の計画が重要で、耐震補強工事助成などを拡充すべきです。老朽化したビルやマンションに対する耐震診断、大規模修繕に対する助成も拡充することが必要です。</p> <p>同時に、避難行動要支援者や避難計画と災害時の支援など、区の責任で行います。都市型災害対策にも、都に対して対策の強化を求め、区独自にも支援を強化します。</p> <p>そもそも福祉の街づくりは、災害に強い街づくりに通じます。災害弱者でもある子ども、高齢者、障がい者などを大切にしたい街は、施設やスタッフが充実していることが前提だからです。福祉の街づくりはマンパワーに依拠します。スタッフが充実していれば、いざというとき災害弱者を誘導できます。保育士や介護職員が暮らしていける給与を保障することも大切です。区職員の方が区内に住める政策も大切です。</p>	
		<p>新しい基本構想「ちがいを ちからに 変える街。渋谷区」の実現のため、住む人、働く人、学ぶ人など渋谷区を愛するステークホルダーと交わりながら、渋谷区らしい価値や文化を発信していきます。福祉を教育という柱に加え、ササハタハツと題した、甲州街道方面にまちづくりを推進します。具体的には、玉川上水旧水路緑道の再整備、水道道路の活用方法、西参道の整備を考えています。</p> <p>10年後のイメージは、「最先端の田舎暮らし」です。</p>	
		<p>街の景色が大きく変わる今だからこそ、地域のコミュニティを発展させ、多様な人々がまちづくりに関わるようになるのが理想です。また、渋谷区基本構想は、渋谷区の政策の傘として機能しています。各カテゴリーで進捗状況は異なりますが、基本構想実現のため、渋谷区役所は走り始めています。また、環境基本計画は、スタートしたばかりです。小さいことも積み重ねて、渋谷区らしいアクションにつなげます。</p>	
		<p>スタートアップを支援していくことが、渋谷の活力に繋がると考えています。ただ、投資に関しては民間等から集めてくることが基本と考えます。渋谷区とタッグを組むことで新たな社会性のあるビジネスには積極的に協力をしていくつもりです。昨年も渋谷未来デザインがハブとなり、中国深圳や広島県とスタートアップ支援事業を行っています。</p>	
		<p>渋谷区では特にパラリンピックに力を入れています。シブヤンシリーズと題して、ローカル大会を主催し、区民に各競技及び競技者が身近になる機会をさらに作っていきます。また、障がいに対する意識が変わる大きなチャンスと捉え、超福祉展などと共に、パラリンピックをさらに親しみをもって応援する区民を増やしたいと考えています。</p>	
		<p>戦後、同時期に建設された数多く区内に存在します。校舎、区民会館、社教館などを対象に、立て直しをどうしていくかを正式に検討を開始します。</p>	

<p>⑥</p>	<p>【財】 <①～⑤を実現するための区の財政運営> 上記5点であげていただいた各候補者の皆様のビジョンを実現するには、どうしても財源確保が必要となります。潤沢な財源があるとは言いがたい今、どのように財源を作り出していくのか？ムダな財源の削減やその削減金額レベル、新たな財源の捻出方法など、数値も含め、具体的に提示ください。単年の考え方だけでなく、中期的視点でのプランであつてもかまいません。</p>	<p>この4年間で、ため込み金を314億円も増やし、総額948億円にも膨れ上がっています。23区トップクラスです。その数%を活用すれば、充分、区民のくらし応援の施策が実施できます。また、大企業のためには湯水のごとく区税投入をしています。例えば、渋谷駅の新たな自由通路に26億円、これはJRと再開発ビルの利用者のためのもので、本来事業者が負担すべきものです。新年度予算でも10億円をこえています。こうした、大企業優遇の税金投入をやめれば財源は充分です。</p>	<p>宮下公園や庁舎建て替えのように民間の活力を利用し、税の支出を抑えること。また、今後人口が減ることに対し、ダウントレンドでの区政運営も視野に入れるべきと考えています。</p>
<p>⑦</p>	<p>【その他】 <上記以外に何かお伝えしたいこと></p>	<p>国政のことは国政で、と避けるのではなく、区民の暮らしを破壊する消費税10%増税問題や平和といのちにかかわる9条改憲、騒音や落下物の危険・財産まで脅かす羽田新低空飛行ルートなど、くらしといのちにかかわる悪政に対し、しっかり物申す区政にしたいと思います。</p> <p>また、徹底した情報公開と区民参加を区政運営の基本に据えることが大事だと考えます。区庁舎の土地へのマンション建設、宮下公園の整備事業などで、企業の事業だと総事業費などが明らかにされていません。こうした事業は区民の財産を貸し出しておこなわれるもので、すべて情報公開すべきです。</p> <p>区民参加については、住民が区政に積極的に参加し、その要求と創意を行政に反映させることが地方自治の本来の姿だと思います。それを保障するためにも情報公開は不可欠です。</p> <p>自衛官募集への協力として、法律に義務もないのに、区民の若者の名簿を本人の同意もなしに、自衛隊に提供していることは、重大なプライバシーの侵害で許してはなりません。直ちに、名簿提供はやめます。</p>	<p>—</p>